

私 の 息 子

H28年5月1日

我が先祖は滋賀県多賀町栗栖の出身です。初代の名前は藤兵と言ひ、近江の「近」と藤兵の「藤」をとり「近藤」と屋号を決め、旅籠を江戸末期に開業しました。息子で6代目です。創業以来約180年になります。

息子は昭和42年12月24日に生れ、現在48歳になります。この年は第1回埼玉国体が開催された年です。良い思い出が沢山あった年です。それはさておき息子は小学校を無事終了、中学に入学。私が高校時代卓球で埼玉代表に選ばれたことを知っていて、部活は卓球部に入部しました。息子の練習する姿を見て一流選手になれる素質を持っていると思いました。2年生の時、親子対決が実現しました。結果は21対1、21対2で私が勝ちました。息子は私の圧勝に、自分は卓球の素質が無いと感じたようでした。その時息子の卓球に対する素質について、褒めることも、内容についても一切言いませんでした。

息子は卓球は自分に合っていないと思ったそうです。それ以来スポーツではなく勉学に向かいました。高校は進学校、大学は国立へと進みました。卒業後、東京・築地にある一流料亭で7年間修業、現在に至っています。39歳で大学時代学んだ“街づくり”を実現するために市議に立候補、現在3期目です。今思えば親子対決の時、息子に卓球の素質と内容を褒めていたら、息子の現在は違った人生であっただろうかと思ひます。しかしこれで良かったのだとも思ひます。

石川 栄二 きんとう旅館5代目（深谷市在住）